

肝炎ウイルス検診の検査内容と判定

1 B型肝炎ウイルス検査

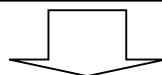
判定結果 (HBs抗原検査)

陽性



医療機関の受診を強く勧めます。
一度は専門医を受診しましょう。

陰性



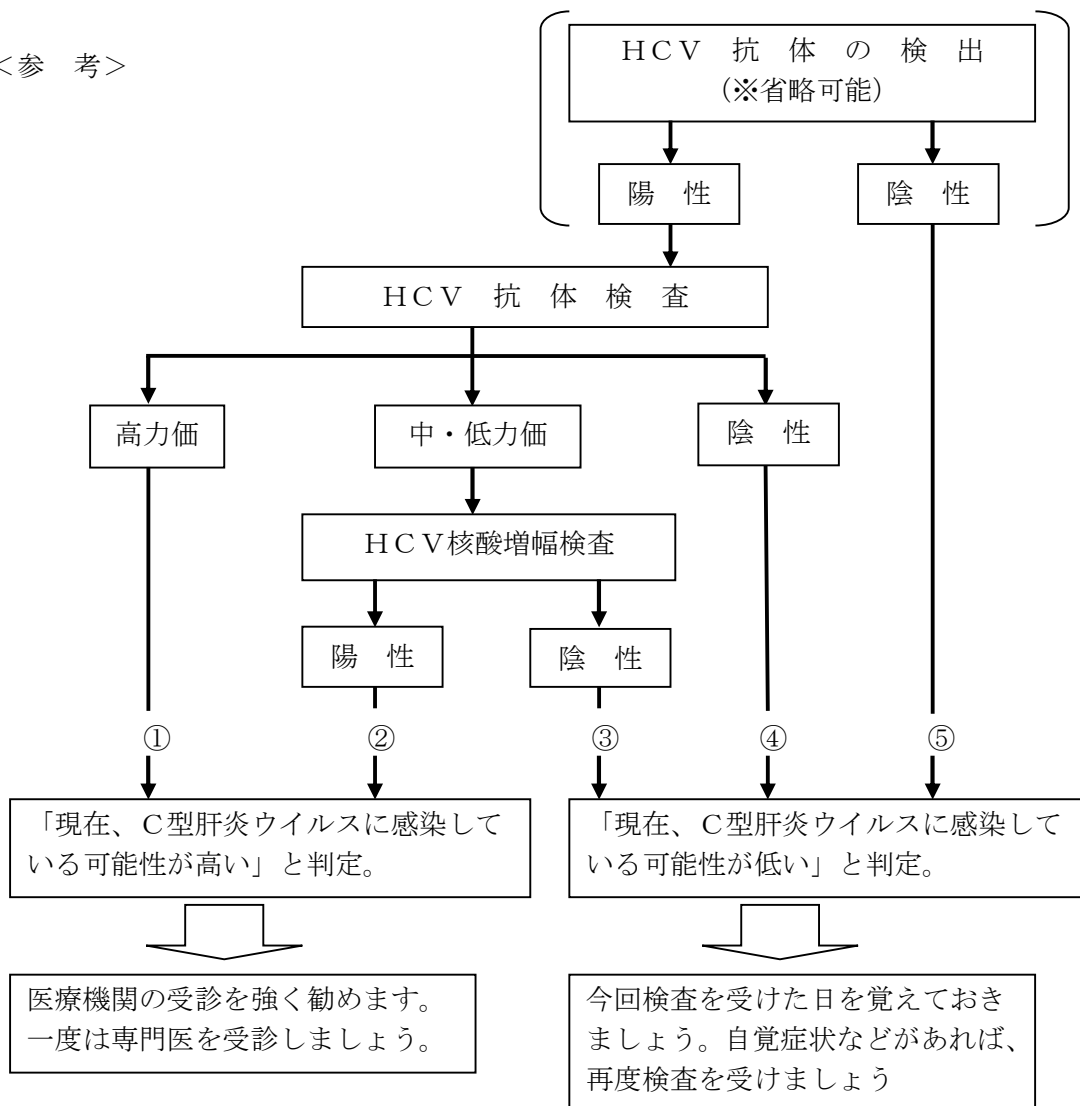
今回検査を受けた日を覚えておきましょう。
自覚症状などがあれば、再度検査を受けましょう

2 C型肝炎ウイルス検査

判定結果

「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が高い」と判定されました。
判定理由 ① ②
「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が低い」と判定されました。
判定理由 ③ ④ ⑤

<参考>



<注意事項>

HBs抗原検査が陰性となった場合にも、身体のだるさ等の症状や肝機能異常を指摘された場合などには、必ず医師に相談してください。

また、日常生活の場では、C型肝炎ウイルス（HCV）に感染することはほとんどないことがわかっています。したがって、毎年くり返してC型肝炎ウイルス検査を受けなくても、現在のところ、上記に示す手順を踏んだ検査を1回受ければよいとされています。

なお、「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が低い」と判定された場合でも、C型肝炎ウイルス（HCV）以外の原因による肝炎になる可能性があること、検査後新たにC型肝炎ウイルス（HCV）に感染する場合（きわめてまれとされています。）があること、検査による判定には限界があることなどもありますので、身体のだるさ等の症状や肝機能異常を指摘された場合などには、必ず医師に相談してください。